

スペイン語の世界へようこそ

担当: 吉 江 (スペイン語 I・II)

川 西 (スペイン語 III・IV)

扉の向こうに 5 億人の友だちが待っている！

Te esperan 5 00 millones de amigos al otro lado de la puerta



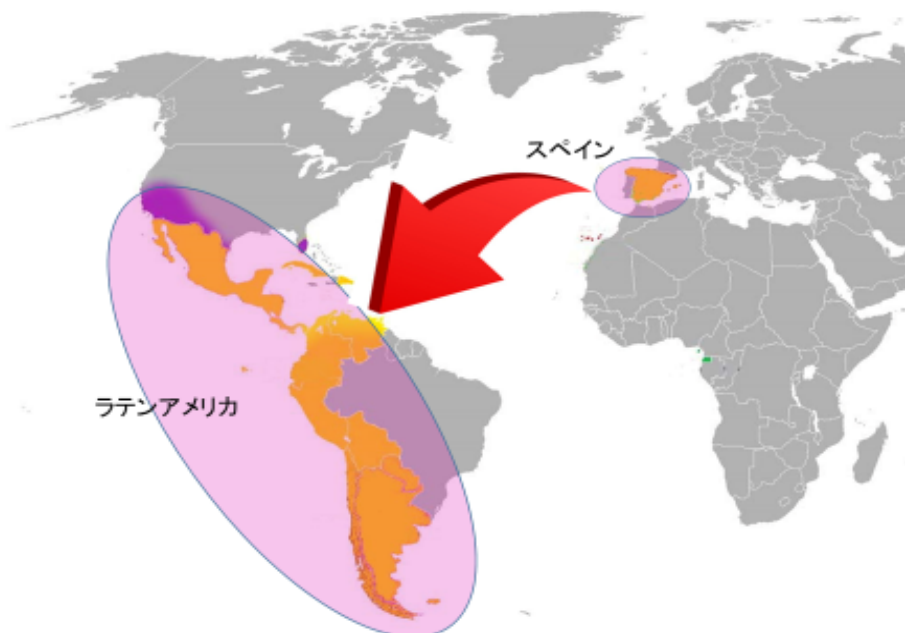
★ スペイン語の現在

- ・世界で **約5億人** の人々によって日常的に話されているコトバ。
- ・世界の **21ヶ国(地域)** で公用語として使われている。
- ・6つある **国連公用語** のひとつ ⇒ NGO など、国際的な公的機関、公用文書における共通言語

★ スペイン語を公用語とする国・地域

- ・スペイン、ラテンアメリカ 19 カ国 (地域)、アフリカ 1 カ国の計 21 カ国 (地域) の公用語。

スペイン語を公用語とする国・地域



【現在スペイン語が使われている国・地域名】

《ヨーロッパ》

スペイン

《中央アメリカ 7ヶ国》

メキシコ、グアテマラ、エルサルバドル、パナマ、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ

《カリブ地域 3ヶ国》

キューバ、ドミニカ共和国、プエルトリコ

《南アメリカ 9ヶ国》

ベネズエラ、コロンビア、エクアドル、ウルグアイ、ボリビア、チリ、ペルー、アルゼンチン、パラグアイ

《アフリカ 1ヶ国》

赤道ギニア

《その他》

- *アメリカ合衆国 ⇒英語につぐ第二言語(国民人口の約18%)。公式統計で、6000万人以上のスペイン語話者が暮らす。カリフォルニア州、フロリダ州など、地域によってはむしろスペイン語話者が多数を占めるところもある。(出典: UN, Demographic Yearbook System, Demographic Yearbook Special Census Topics)
- *日本 ⇒ 約10万人のスペイン語ネイティブが暮らしている。



国際的な仕事を目指す人(国際支援関係、NGO、国連など)には超オススメ!

ほかにも・・・



サグラダ・ファミリア、マチュピチュ、
 フラメンコ、ピカソ、タリ、インカ、ア
 ステカ、パエリア、テキーラ、サルサ、
 ルチャ・リブレ、バルサ、メッシ、フォ
 ルクローレ、マリアッチ、アルハンブラ
 宮殿、パタゴニア ……………

スペイン語 !!

・・・などが浮かんだら……………

II スペイン語の特徴

【発音・文字】

☆ スペイン語の発音は日本語とよく似ている。



なぜなら、《 “ア” “イ” “ウ” “エ” “オ” 》の5母音で構成されているから。

☆ 発音の基本はローマ字読み

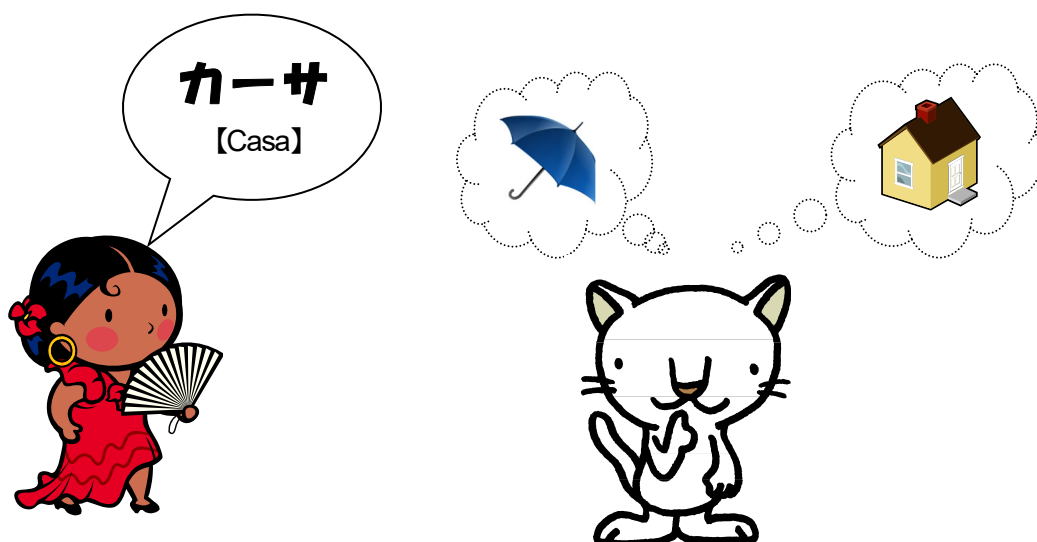


すぐにスペイン語の本を声に出して読めるようになります。

☆ 文字は英語のアルファベット 26 文字+ 1 字(ñ) = 27 文字

【文法】

☆ スペイン語の文法学習で最低限、必要なこと・・・動詞の活用を中心に **教科書 10 ページ分** を覚える。



☆ もともとスペイン語はラテン語の方言だった!! 【ちょっと歴史のお話】

紀元前3世紀 イベリア半島（今のスペイン）がローマ帝国に組み込まれる

→ ローマ帝国の公用語であるラテン語がスペインに普及

中世（13世紀頃まで） 口語ラテン語の方言がロマンス語に変化 → スペイン語、ポルトガル語、フランス語、イタリア語、ルーマニア語に分かれる



もともとスペイン語とは、いわゆる標準日本語〈ラテン語〉に対する広島弁〈スペイン語〉みたいなものだった。

13世紀～15世紀 カスティーリャ Castilla 王国が言語統一を図り、スペイン語（español もしくは castellano）が形成される

1492年 クリストバル・コロン（コロンブス）がアメリカ大陸にやって来る。

16世紀～19世紀 現在のラテンアメリカがスペインの植民地となり、スペイン語がアメリカ大陸に広まる。

Ⅲ スペイン語 I・II の授業の進め方

- ★ スペイン語 I・II の授業では、1 年間かけてスペイン語の基礎を身につけることを目指します。授業は、《基本文法の解説、グループごとの練習、まとめのテスト》という順番で、1 課ごとに繰り返しながら進みます。

《どうやって身につけるの?》

◎ 覚える単語は、一日に 「3 語」 × 3 6 5 日

⇒ 最初の目標 = 基本となる約 1000 語 を 1 年でしっかり覚える。

(日常会話の 70% は基本 1000 語、90% は 3000 語で構成されている)

⇒ 残りの 10% は辞書に任せる)

◎ 文法は 10 ページ分を徹底して覚える

⇒ 教科書の **枠で囲われたところ** を集中的に覚える!!

Ⅳ スペイン語の授業に必要なもの

① 絶対必要なもの

《教科書》

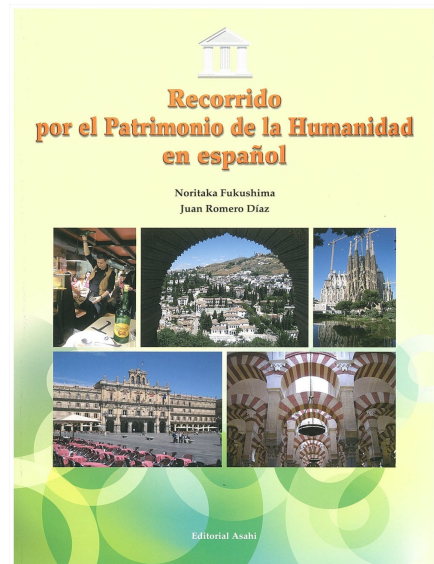
『世界遺産で学ぶスペイン語』 朝日出版社。



4 月の教科書販売のときに購入する。

② その他の教材・資料

- ・大学のポータル・サイト (UNIPA) から各自ダウンロード。
- ・それ以外は、授業で配布。



Ⅴ スペイン語 I・II の成績評価について

- ☆ 成績は、平常点 (授業での取り組み・日常課題・小テスト) と期末テストを総合して評価する。それぞれの評価比率は平常点 60%、期末テスト 40%。総計で 最低 60% 以上 を合格とする。
- ☆ 出席は毎回とります。遅刻 (20 分以上) 1 回で 1 ポイントの減点、3 ポイントためると欠席 1 回分のボーナスが出ます。
- ☆ 宿題は毎回たくさん出します。

VI スペイン語圏への留学

① 広島市立大学カープアカデミー企業インターンシップ（ドミニカ共和国）

- ・ドミニカ共和国のカープアカデミーの本学からインターンシップ学生として、毎年1名を約5ヶ月派遣している。
- ・派遣中は、各自の定めたテーマに基づいて現地で調査などの活動を行うことができる。
- ・対象は、本学全学部の3年生以上の学生。
- ・詳しくは、大学HP (<https://intl.hiroshima-cu.ac.jp/education/international/>)。

② 広島県メキシコ留学生派遣プログラム（メキシコ）

- ・正式名称は、「日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画」。
- ・日本とメキシコの外務省のあいだで毎年50名ずつ国費留学生として交換留学を行っている。そのうち、広島県から毎年2名程度を地域枠として派遣（これまで実施された8年間のあいだに本学からはのべ7名、うち1名は現在派遣中）。
- ・メキシコ自治大学へ1年間（8月～翌年7月）国費留学（つまり無料）し、おもに大学付属語学センターでスペイン語を学ぶ。
- ・詳しくは、広島県国際課HP (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/38/nichiboku2026-boshuu.html>)
YouTube 紹介ビデオ (<https://www.youtube.com/watch?v=uR4s94cjjCo>)
派遣学生のレポート (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/38/nichiboku2025-haken.html>)
メキシコ自治大学HP (<https://www.unam.mx/>)を参照。



メキシコ自治大学（UNAM）

VI 担当者紹介 (スペイン語 I・II)

吉江 貴文 (よしえ たかふみ)

専 門： ラテンアメリカ地域研究、歴史人類学、文書管理実践論。

本学では主にラテンアメリカ研究ゼミを担当。

主な調査地：ボリビア、ペルーを中心としたラテンアメリカ、スペイン。

1993 年から約 3 年半にわたり、南米・ボリビアのアイマラ系先住民を中心とした人類学調査に携わる。

現在の研究テーマは、「近代ヒスパニック世界における文書ネットワークの成立と展開」。

研究室： 国際学部棟 734 研究室 (外国語関連の相談はいつでも受けつけます)。